

基本構想 行政経営の方針に係る各部会からのご意見ご提案に対する事務局案 (行財政専門部会)

内容区分		ご意見・ご提案の内容	ご提案・ご意見に対する考え方
1	前文について	前文にある市民本意の意味合いについて(教育部会)	市民本意については、市民の気持ちになって行政を運営していく意味合いで表したものである。表示については、「本位」で統一したい。 本意 = その人の・本当(本来)の気持ち。 本位 = 考え方・(行動)の中心とする基準。
2	1 市民、地域、関係団体や行政との表現について	全体に共通することであるが、市民、地域、関係団体や行政との表現について、長野市の総合計画を考えるうえで、統一的な表現にしてはどうか。(環境部会)	市民と行政の関係をより明確に表現するために、各分野で中心的に取り組む対象を分かりやすく具体的に上げたものである。表現については現状のままをしたい。
3	2 地域の個性をいかした住民自治の推進	自己責任という表現は、「あなたが失敗したら知らないよ」というニュアンスを感じる。自立ということは、自己責任がともなうことであることは理解しているが、あえて書かれると引いてします。中身は良いが、活字になるとそう感じる。(福祉部会)	自分達の地域は、自分達で創っていくといった、住民主体の活動に対する積極的な支援していくことを表しているものであり、表現については、現状のままをしたい。
4	4 行政改革の推進と効率的な行財政運営について	小さな市役所の表現について、どのような意味なのか。小さな市役所ではイメージしにくい。(産業部会)	民間活力の活用や行政改革の推進により、真に必要な住民サービスを提供しつづけるため、行政全体をスリム化、効率化した小さな市役所を目指すもで、要素を一体とした表現に修正したい。
5		小さな市役所の表現について、民間活力の導入と行政改革の推進により、小さな市役所を目指すとしたらどうか。(都市整備部会)	
6		民間活力の導入について、何でも民間に任せるのではなく、慎重な導入を意見として申し上げる。(都市整備部会)	
7	注釈について	協働の注釈について、これを読んだだけでは分かりにくい、今までより意欲的なことをやろうということが分かるようにならないか。(防災部会)	「市民公益活動促進のための基本指針」から定義を引用しているもので、注釈全体のバランスを見て今後検討していく。

基本構想 施策の大綱(素案たたき台)に係るご意見ご提案への事務局案

(産業部会)

	内容区分	ご意見・ご提案の内容	ご意見・ご提案への事務局案
1	まちづくりの方向性 (施策の視点)	<ul style="list-style-type: none"> ・起業家精神やハングリーさなど人間くささを織り込めないか。創業、起業などの表現があるといい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・起業は「施策の視点」中の「産業を支える人づくり」の表現に要素を補足し、「<u>起業や開拓を志す新たな担い手の支援や地域産業を支える先導的な人づくり</u>」と修正したい。
2	まちづくりの方向性 (施策の視点)	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域産業のブランド化」が抽象的ではないか。住み方や働き方など、暮らしや行動をブランド化できればいい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域産業のブランド化は注釈で説明している。 ・構想の目標編まちづくりの視点に、「長野らしさをいかしたまちづくり」として以下の2点を盛っており、ご指摘の考え方を含んでいる。 <ul style="list-style-type: none"> - 自然や歴史・文化、風土を資源として誇れる、住みたくなる地域づくり - 産業と観光と地域が一体となり、交流し惹きつける、訪れてみたくなる地域づくり
3	まちづくりの方向性 (施策の視点)	<ul style="list-style-type: none"> ・「既存産業の高付加価値化」の表現修正は、案3「社会や経済の変化に対応した産業の高付加価値化」が分かりやすい。 ・案2の「～の取組」に前向きな感じを受ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「<u>社会や経済の変化に対応した産業の高付加価値化への取組</u>」とする
4	まちづくりの方向性 (施策の視点)	<ul style="list-style-type: none"> ・高付加価値化は既存のものを対象としている感じを受けるが、新しい人の取組をどう捉えるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい取組や起業なども産業の高付加価値化の要素として捉えられる。(起業の要素は項目1参照)
5	工業分野	<ul style="list-style-type: none"> ・産学行連携の目的は産業の構造力を強くすることで、目標を前に出して説明したほうがいい。注釈は注釈として、本文で読んだときに分かりやすいように。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「<u>地域の産業力を高めるために産学行連携の取組を進め</u>」と補足して修正したい。
6	商業分野	<ul style="list-style-type: none"> ・「商業機能とまちづくりとの連携により」は、連携ではなく、マッチングや調和、一体とった表現ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「<u>商業の活性化とまちづくりとの一体的な取組により</u>」と修正したい。
7	雇用分野	<ul style="list-style-type: none"> ・「高齢者や若年層、女性等の就業を支援し」の女性等の等は不要では。女性の支援はあまり重要でないような感じを受ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者や生活弱者を含めて等としたが、若年層の他にも中高年の離職者も含めて就業支援が求められているので、「高齢者、女性、若年層などの～」としたい。
8	雇用分野	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化の中で託児など女性が働きやすい環境が必要 ・障害者を労働力として活かすことが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉でそれぞれ、安心して生み育てられる環境整備、生涯のある人の社会参加や地域での自立として表現され、基本計画でも要素が入ってくる。
9	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・他の分野との関連を示した方が分かりやすいのでは 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、基本計画を含めて全体を通じた検討事項としたい。